多彩な蹴り技が特徴のテコンドー。 城東区表彰を2度受けられた蒲生中の桑原大昇さん、冬明さんご兄妹に 特集 テコンドーにかける想いなどを伺いました。 兄妹でテコンドー界の頂点をめざす! 感謝を忘れない「真の強さ」を一



妹 桑原冬明さん 蒲生中学校1年生

「強くなりたい! | その想いからスタート

大昇(あさひ)さん「テコンドーを始めたのは小学校5年 生の時。テコンドーの事はよく知りませんでしたが、た またま友達がテコンドーの道場に通っていて、話を聞 いたのがきっかけ。以前、空手を習っていたこともあ り、『また格闘技をして強くなりたい!』という想いが 強かったんです。

冬明(あかり)さん 「私もお兄ちゃんと一緒に小学校3年 生からテコンドーを始めました。やっぱり理由は、強く なりたいということです。

お互いの強みを理解し 支え合う

大昇さん「僕から見た妹の良いところは、"負けず嫌い"なと ころ。だから試合でも、相手に攻撃されると凄い連打で返 すんです。実際、妹は近距離での蹴りの連打が得意ですね。 そして僕の得意技は、近距離でのハイキックです。」

兄 桑原 大昇さん

蒲生中学校3年生

冬明さん「お兄ちゃんの凄いところは、体力が3ラウンドの 最後まで持つこと。他の選手が途中で疲れていても、お兄 ちゃんは最後まで蹴り続けられます!」

大昇さん「そうですね。それはコーチに発見してもらって、 伸ばしてもらいました。"最後まで戦える"のは、大きな強み です!」

お母さんにお聞きしました



兄の大昇は小さい頃病弱で入退院を繰り返した頃もあり、テコン ドーで本当に身も心も強くなったと思います。家では、練習がで きない間も常にテコンドーを忘れないよう兄妹でミットを持ち 合ったり、筋トレをしたりといった環境をつくっています。これか らも、コーチや周りの人達への感謝、「自分は恵まれている」とい う事を忘れずに頑張ってほしいですね。



周囲のサポートへ 感謝を忘れずに



大昇さん「一番しんどいなと思ったのは、タイに海外遠征に行っ た時。タイの同年代の選手たちと、早朝から厳しい練習を続けた ときは本当に辛かったですね。でも、その時のしんどさを思え ば、大きな大会でも頑張ることができるようになりました。」

冬明さん「試合で上手くいかないときは、悔しかったりするけど、 勝って表彰台の1番高いところに登った時は本当に嬉しいです! JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアテコンドー選手 権大会で優勝するのが目標です。」

大昇さん 「僕たちがこうやって好きなテコンドーに打ち込めるの も、体重制限のためのバランスの取れた食事を作ってくれる母 や、技術面・精神面のサポートをしてくれるコーチの皆さんの おかげです。この気持ちを忘れずに、僕もJOCジュニアオリン ピックカップ全日本ジュニアテコンドー選手権大会で優勝した いですね! |

受 賞 歴

桑原 大昇さん

- 第3回 少年少女選抜テコンドー選手権大会 1位
- 第15回 大阪府テコンドー選手権大会 2位
- JOCジュニアオリンピックカップ

第12回全日本ジュニアテコンドー選手権大会 3位 ほか



桑原 冬明さん

- 第12回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会 西日本地区大会 1位
- 第15回 大阪府テコンドー選手権大会 1位
- JOCジュニアオリンピックカップ 第12回 全日本ジュニアテコンドー選手権大会 3位 ほか

テコンドーについて

テコンドーは華麗な「蹴り技」が特徴の打撃系格闘技。「足のボクシング」とも言われています。オリンピックの 正式種目でもあり、世界200か国以上、約7,000万人の競技人口を誇っています。近年スパーリング種目『キョ ルギ』の試合では、胴プロテクターやヘッドギアに電子機器が付けられ、よりポイントがわかりやすく安全性も 高くなっています。

ルールについて

テコンドーの試合時間は、2分×3ラウンド・インターバル1分です。試合の勝敗は、技の種類により決められ たポイントを多く獲得した選手が勝利します。ルール上で攻撃部位をボディおよび頭部への足による攻撃を 有効とし、腰から下への攻撃、顔面へのパンチを反則とするなど攻撃の部位や方法を限定しており、そのた め、他の打撃系格闘技と比較して蹴り技によるポイントが重視されています。



コーチにお聞きしました

しん じゅんしく 申 準植コーチ



「大昇さんの強みは、体力がある こと。そのため、逆転勝利も多い んですよ。これはテコンドーで勝 利するためにとても大切なことで す。冬明さんはまだ小さい分、柔 軟性もあり、技術はこれからさら に吸収してくれるでしょう。日本 で行われるアジア競技大会での2 人の活躍を期待しています」

「このクラブでは、技術だけでなく礼儀作 法や人前でハキハキ話すことなど人として 成長できるよう指導しています。テコン ドーは"生涯スポーツ"。子どもから高齢者 の方まで、幅広い方に楽しんでいただけま すので、ぜひチャレンジしてみてください」



ところ 鶴見区諸口5-5-1 スタジオライツ 問合せ 7492-8929



やました あきこ山下 昭子コーチ











